

令和5年度

決算報告

(5) 2024.10 ふじさと

歳入について、現役世代の減少により給与所得は減となっているものの、コロナ禍を乗り越え緩やかな回復基調を取り戻し営業所得が増となつたこと等により個人町民税は2・9%の増となりました。しかし、業績低調により、法人町民税は23・4%の減となり、町民税全体では0・1%の増となりました。固定資産税は、土地、建物、償却資産からなる純固定資産税が0・1%の増、国有林野交付金が5・2%の増、県有資産交付金が0・6%の増となつたことにより、固定

令和5年度一般会計の決算規模は、歳入総額が40億4,207万円で、前年度と比較すると4億7,451万7千円(10・5%)の減、歳出総額は38億1,264万6千円で、前年度と比較すると5億2,920万3千円(12・2%)の減となりました。

また、歳入歳出差引額は2億2,942万4千円の黒字ですが、このうち翌年度へ繰越すべき財源が3,742万6千円あり、実質収支額は1億9,199万8千円と、前年度より3,426万円(21・7%)の増となりました。

国庫支出金においては、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の皆増、公共土木施設災害復旧事業費負担金の増となりました。税が0・6%の増、特別交付税は1・0%の増で、全体では0・7%の増となりました。

県支出金においては、エネルギー・食料品価格高騰対応緊急支援事業費補助金の皆減や農業夢プラン応援事業費補助金、地籍調査費補助金の減がありましたが、補助金、森林環境保全整備事業費補助金の増等により、全体で44・4%の減となっています。

◇歳出の性質別構成比率◇

(単位：千円)

【義務的経費】	1,271,537 (33.4%)
◎人件費	705,206 (18.5%)
(うち職員給)	416,456 (10.9%)
◎扶助費	212,232 (5.6%)
◎公債費	354,099 (9.3%)
【投資的経費】	499,358 (13.1%)
◎うち普通建設事業費	354,484 (9.3%)
【その他経費】	2,040,048 (53.5%)
◎物件費	585,918 (15.4%)
◎維持補修費	85,008 (2.2%)
◎補助費等	667,962 (17.5%)
◎投資出資貸付金	103,943 (2.7%)
◎積立金	247,302 (6.5%)
◎繰出金	349,915 (9.2%)
歳出合計	3,810,943 (100%)

※ () 内は構成比率

令和5年度主要施策

(単位：千円)

『補助事業』	
公共土木施設災害復旧工事	64,251
造林事業	53,320
橋梁修理工事	52,557
農地農業用施設災害復旧工事	29,061
多面的機能支払交付金	21,486
新型コロナウイルスワクチン接種対策事業	8,239
農業次世代人材育成投資資金	7,500
『単独事業』	
中型ロータリー購入事業	57,530
福祉医療費	25,566
お買い得商品券助成金	22,398
バス路線維持費補助金	20,003
トンネル照明灯LED化事業	16,866
漬物製造所等建設事業	15,837
奨学金貸付金事業	12,120
町民体育館LED照明化事業	9,878
農用地活用適正化助成金	9,160
子育て応援金	8,550
高齢者バス無料化事業	6,237
国際交流員兼指導員派遣委託事業	6,006